

社会科見学で学んだこと

古本 千佳

筑紫野市立阿志岐小学校

私は、宝満川浄化センターのズーム社会科見学で、かじ原さんいろいろなことを教えてもらいました。なので、ズーム社会科見学で学んだことを話します。

最初に、「水は大切」と言われました。生き物は、水が無いと生きていけない。人は、六十%が水、地球の七十%は水なので、水のわく星と言われています。地球の水の中で、飲み水は0.01%しかないそうです。

お湯をわかすと湯気が出ることを、「じょうはつ」と言います。海の水がじょうはつして、雲になり雨がふります。川ができ、ダムにためられ、浄水場できれいにします。それを使い、下水処理場へいき川へ流され海へという流れで私たちは、安全できれいな水を使うことができます。

コップ一杯分の牛乳をきれいにするのに、お風呂十一杯分の水、みそ汁じゃわん一杯分のみそ汁をきれいにするのに、お風呂一杯分の水、シャンプーのボトルの中身をきれいにするのに、お風呂一杯分の水がいるということが分かりました。えいようかが高い物はきれいにするために多くの水が必要です。牛乳はとてえいようかが高いので多くの水が必要になってしまいます。これからは、ついだ分の牛乳は全部のもうと思いました。

活性君は、浄水場でとても大切な役目を果たしています。川に入っ

たときにヌルヌルした物は、活性君だそうです。意外と身近にいるんですね。でも、浄水場には川の一万倍いるそうです。活性君は、水の汚れを食べてくれます。他にも、フトヒゲムシ、ツリガナムシ、細菌類、アメーバ、クマムシなどのび生物がいます。

関係者以外立ち入り禁止の地下室も見せていただきました。いろいろな機材があつて、危ないので探検にはいけないそうです。どろを進めたり、止めたりすることができそうさばんもおいでありました。

すいしつじつけん室では、どろと水を分類させる機材いや、一キロ以下の軽い物をはかる機材などがありました。

一番楽しかったのは、実けんです。半分くらいの水が入った二本のペットボトルの中に、それぞれティッシュとトイレットペーパーを一人一枚入れました。そしたら、両方しずみました。それからキャップをしめ、中身がとけたのは、トイレットペーパーです。とけなかったのは、ティッシュです。両方バケツに入れたら、トイレットペーパーは入ったけど、ティッシュはつまって入りませんでした。だから、トイレットペーパー以外すててはいけないことが、分かりました。

はいすいこうにぜったい流してはいけない物は、かみの毛、油、熱いお湯です。つまったり、いたんだりしてしまいます。特に油は、息ができなくなり、活性君が死んでしまうので、絶対に流さないようにしたいと思えます。